

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101192
事業所名	グループホーム縁

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 毎月開催される認知症カフェ(オレンジカフェ)が盛況を呈している。地域のお年寄りを中心に来場者は多いが、介護実習でホームを訪問した実習生や、管理者(法人代表)の古からの友人がボランティアとして支えている。利用者とボランティアとが一緒に制作した作品を、地域の図書館等に展示している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に1度の運営会議には、外部から地域包括支援センターの職員や介護相談員、地区総代、利用者の家族等が集まっている。今年度から、運営推進会議が身体拘束に関する委員会を兼ねることになり、毎回、参加者による討議(意見交換)が行われている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） ホームの近くに市役所があることから、用事があればすぐに訪問することができる。地域包括支援センターの職員や介護相談員が必ず運営推進会議に出席しており、市の担当課とのパイプ役となっている。介護相談員は、毎月のホーム訪問もある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 管理者(法人代表)が医療機関に長く勤務していたこともあり、利用者やキーパーソンには医療関係者が多い。ホームイベントには大勢の家族が集まり、利用者とともに楽しいひと時を過ごしている。管理者の明るく気さくな性格は職員にも伝わり、ホーム内には利用者や家族が何でも話しやすい雰囲気が流れている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	